



日本文化財科学会第41回大会 プログラム

口頭発表

7月27日(土)

口頭発表(第1会場)

	番号	開始	終了	題目	発表者
開会式		9:30	9:50	開会挨拶、諸連絡	
文化財科学 一般	A-1	9:50	10:05	アンコールトムバイヨン寺院主塔の基礎構造の修復保存工事	○岩崎好規、福田光治、石塚充雅、山田峻亮、成井至、赤澤 泰、中川 武
	A-2	10:05	10:20	近世の和鉄の特徴を有する新たな和鉄の開発	○渡邊緩子、末廣正芳、迫田章人、松本雅充、西隆之、本弓省吾、井上泰彦
	A-3	10:20	10:35	文化財“フォトグラメトリ”の過去・現在・未来	○山口欧志
	A-4	10:35	10:50	縄文原体に関する知能情報学的検討	○高野紗奈江、千葉豊、杉山淳司
		10:50	11:00	休憩(10分)	
文化財科学 一般	A-5	11:00	11:15	失われた材料、生姜汁について	○金旻貞、宇都宮正紀、谷昭佳
	A-6	11:15	11:30	東南アジア民族誌の米のアミロース分析：蒸したウルチ米を主食とする理由の解明	○小林正史、白石哲也、星野友紀
	A-7	11:30	11:45	アミノ酸窒素同位体分析からみた梶子遺跡の古代官衙におけるブタ利用の多様性	○板橋悠、丸山真史、井口智博
		11:45	12:00	休憩(15分)	
企業セミナー	KA-1	12:00	13:00	企業セミナー「大塚オーミ陶業株式会社」 屋外遺構・遺跡における陶板の展示・活用事例	
		13:00	13:10	休憩(10分)	
ポスター発表		13:10	14:10	ポスター発表コアタイム(奇数)	
		14:10	14:20	休憩(10分)	
文化財科学 一般	A-8	14:20	14:35	土器付着物を用いた縄文時代晩期以降の食性分析—余市町大川遺跡を中心に—	○國木田大、福田正宏、高橋美鈴、米田穰
	A-9	14:35	14:50	北海道十勝平野中央部における遺跡出土土器の残存脂質分析	○福井淳一、村本周三、堀内晶子、宮内信雄、小澤仁嗣、宮田佳樹
	A-10	14:50	15:05	東京湾東岸における縄文時代早期初頭の土器調理	○宮田佳樹、畑山智史、福井淳一、風間智裕、宮内信雄、小澤仁嗣、堀内晶子、村本周三
	A-11	15:05	15:20	釣手土器の残存有機物分析	○宮内信雄、堀内晶子、小澤仁嗣、副島蔵人、佐野隆、中村耕作、吉田邦夫、宮田佳樹
		15:20	15:30	休憩(10分)	
ワーキング グループ	WA-1	15:30	16:20	トレハロース法実践研究会	伊藤幸司、小林啓、澤田正明
	WA-2	16:20	17:10	文化財防災ワーキンググループ	片岡太郎、日高真吾、建石徹
		18:30		懇親会(國學院大學 有栖川宮記念ホール)	

7月27日(土)

口頭発表(第2会場)

	番号	開始	終了	題目	発表者
材質・技法	B-1	9:50	10:05	J-PARCにおける文化財資料の負ミュオンX線測定システムの開発と高度化	○反保元伸、三宅康博、梅垣いづみ、竹下聡史、土居内翔伍、橋本亜紀子、下村浩一郎、杵名貴彦、齋藤努、津村眞輝子
	B-2	10:05	10:20	非破壊オンサイト蛍光X線分析による九州国立博物館所蔵の重要文化財「油滴天目」の材質および起源に関する研究	○阿部善也、村串まどか、小林仁
	B-3	10:20	10:35	幕末期の恵美須ヶ鼻造船所跡(萩市)の出土釘の微量元素組成—日本製と外国製の比較—	○田端正明
	B-4	10:35	10:50	非破壊分析による把手付埴塙の利用方法の検討	○杵名貴彦
		10:50	11:00	休憩(10分間)	
材質・技法	B-5	11:00	11:15	福井県鳥浜貝塚出土縄文前期の漆器から検出されたアスファルトの検討—熱分解-GC/MS分析と塗膜断面観察による比較—	○岡田文男、池永誠、橘洋一、丸山智裕、成瀬正和、鯨本眞友美、網谷克彦
	B-6	11:15	11:30	縄文時代のシダ縄素材と製作方法に関する新知見	○佐々木由香、能城修一、小林和貴、鈴木三男、菅野紀子、高田和徳
	B-7	11:30	11:45	文化財建造物を伝承する視点に基づく価値の発信について：大神山神社奥宮を事例に	○中島佑輔
		11:45	12:00	休憩(15分)	
		12:00	13:00		
		13:00	13:10	休憩(10分)	
ポスター発表		13:10	14:10	ポスター発表コアタイム(奇数)	
		14:10	14:20	休憩(10分)	
産地	B-8	14:20	14:35	携帯型EDXRF非破壊分析による胎土分析の構築	○金原正明、藤田三郎、泉武、白石耕治、千葉太郎、青木智史、金原裕美子、西村奏
	B-9	14:35	14:50	Sr-Nd-Pb同位体分析による西条盆地弥生土器の粘土産出地の検討	○石丸恵利子、申基澈
	B-10	14:50	15:05	長門鑄銭所跡および長門国府跡出土資料の鉛同位体比分析と原料使用の時期的変遷	○齋藤努、濱崎真二、藤原彰久、田中晋作
	B-11	15:05	15:20	目梨泊遺跡出土金銅装直刀の刀装具蒔絵に対するSr同位体分析による漆原産地の推定	○若木重行、岡田文男、南雅代、大谷育恵、高島孝宗、谷口陽子
		15:20	15:30	休憩(10分間)	
ワーキンググループ	WB-1	15:30	16:20	酸素同位体比年輪年代法の成果と課題についてのワーキンググループ	箱崎真隆、佐野雅規、坂本稔、中塚武
	WB-2	16:20	17:10	文化財科学への放射光応用推進ワーキンググループ	田中眞奈子、阿部善也、田端正明、上根英之、小倉頌子

7月28日(日)

口頭発表(第1会場)

	番号	開始	終了	題目	発表者
ワーキンググループ	WA-3	9:00	9:50	科学調査の倫理観ワーキンググループ	大西智洋、杵名貴彦、鳥越俊行、比佐陽一郎、松井敏也
	WA-4	9:50	10:40	石造物WG・東アジア文化遺産WG合同会議	脇谷草一郎、高妻洋成、高取伸光、今津節生
		10:40	10:50	休憩(10分)	
保存科学	A-12	10:50	11:05	静岡市歴史博物館露出展示「道と石垣の遺構」の保存対策	○松井敏也、毛利舞香
	A-13	11:05	11:20	中尾山古墳の長期温度計測とシミュレーション：墳丘が室内熱環境に与える影響	○澤田茉伊、谷珠美令、三村衛
	A-14	11:20	11:35	漆喰下地に残存するアルカリが群青・緑青の変質に及ぼす影響 — 初期pHの異なるCa(OH) ₂ 水溶液を用いた浸漬実験による検討 —	○大迫美月、柳田明進、脇谷草一郎
	A-15	11:35	11:50	特別名勝一乗谷朝倉氏庭園の景石保存に関する研究 — 景石の冬季養生方法の検討 —	○藤井佐由里、脇谷草一郎、柳田明進、藤田若菜
		11:50	12:00	休憩(10分)	
総会・授賞式		12:00	12:50	総会・授賞式	
		12:50	13:00	休憩(10分)	
ポスター発表		13:00	14:00	ポスター発表コアタイム(偶数)	
		14:00	14:10	休憩(10分)	
保存科学	A-16	14:10	14:25	木製遺物の保存処理における脱水工程を要しない非水溶性薬剤含浸法の検討 — 陽イオン界面活性剤を用いた新たな高級アルコール含浸法の可能性 —	○松田和貴、脇谷草一郎
	A-17	14:25	14:40	奈良県富雄丸山古墳出土蛇行剣の応急的な保存科学的処置から得られた新知見(Ⅱ) — 明らかになった蛇行剣の全容 —	○奥山誠義、河崎衣美、中尾真梨子、小倉頌子、村瀬陸、鐘方正樹、中島和彦、岡林孝作、川上洋一、水野敏典、山口等悟、柴原聡一郎
	A-18	14:40	14:55	沈没船エルトゥールル号より回収された滑車の非破壊内部調査	○杉山智昭、Turanli TUFAN、木村淳、鳥越俊行、加藤沙弥、比佐陽一郎、魚島純一、今津節生
	A-19	14:55	15:10	ガラス乾板の長距離輸送における振動解析について	○和田浩、池田和彦
	A-20	15:10	15:25	海底遺跡出土鑄造鉄製遺物の埋蔵時の腐食と発掘後の劣化現象の検討	○柳田明進、脇谷草一郎、渡邊緩、末廣正芳、迫田章人、小峰彩椰
	A-21	15:25	15:40	文化財建造物における障壁画の保存対策に関する研究 — 熱水分移動解析を用いた壁貼付け絵の亀裂抑制方法の検討 —	○高取伸光、乙守倫太郎、小椋大輔、岡村知明、高林弘実、貴田啓子、脇谷草一郎
閉会式		15:40		ポスター賞受賞者発表、閉会挨拶、諸連絡	

7月28日(日)

口頭発表(第2会場)

	番号	開始	終了	題目	発表者
ワーキンググループ	WB-3	9:00	9:50	彩色材料分析ワーキンググループ	北野信彦、谷口陽子、青木智史、中村力也、降幡順子
	WB-4	9:50	10:40	第8回土器科学分析WG	宮田佳樹、西田泰民、村本周三、福井淳一、宮内信雄、小澤仁嗣、堀内晶子、吉田邦夫
		10:40	10:50	休憩(10分間)	
古環境	B-12	10:50	11:05	文化財に含まれるaDNAに対する新規抽出方法の構築	○押鐘浩之、橋場美穂、坂本麻記子、甲斐由理子、藤澤明、植月学、櫛原功一、青野友哉、末森薫、寺村裕史、黒田賢治、Peter J. Matthews、田鶴寿弥子、今井友也
	B-13	11:05	11:20	長崎県佐世保市泉福寺洞窟出土炭化材の樹種同定からみた縄文時代草創期の古環境	○工藤雄一郎、黒沼保子、柳田祐三
	B-14	11:20	11:35	加熱による貝殻の酸素同位体比の変化	○畑山智史
		11:35	11:50		
		11:50	12:00	休憩(10分)	
総会・授賞式		12:00	12:50	総会・授賞式(第1会場)	
		12:50	13:00	休憩(10分)	
ポスター発表		13:00	14:00	ポスター発表コアタイム(偶数)	
		14:00	14:10	休憩(10分)	
年代測定	B-15	14:10	14:25	北海道有珠モシリ遺跡における海洋リザーバー効果	○中村賢太郎、三谷智広、青野友哉
	B-16	14:25	14:40	箱木家住宅の部材年代と建築年代と地下遺構— ¹⁴ C年代測定と古建築年代調査について2	○中尾七重、坂本稔
文化財防災	B-17	14:40	14:55	キャピラリーバリアを用いた古墳保護施設：ドーム状バリアの浸透挙動機能の評価	○藤田有、澤田栞伊
	B-18	14:55	15:10	地球温暖化による劇的環境変動に適した石造文化遺産の調査・保存法の総合的研究(4)—竹田城花屋敷曲輪での地盤ボーリング調査および密度・含水比検層—	○塚本敏夫、植田直見、雨森久晃、山口繁生、坂本俊、若杉勇輝、田邊征夫、三村衛、朽津信明、金田明大、大川拓也、奥田悟、石井正紀
	B-19	15:10	15:25	首里城火災における城郭内収蔵庫の美術工芸品の曝露環境—壁面の輻射熱の影響	○水谷悦子、早川泰弘、幸喜淳

ポスター発表

発表分野	番号	発表題目	発表者
古環境	P001	水田遺構土壌を中核試料とした悉皆型の稲作史研究手法の構築に向けた学際的研究（Ⅰ）	○宇田津徹朗、田中克典、上條信彦
	P002	野生イネの生産量推定に関する基礎的研究（Ⅲ） —野生イネのプラント・オパール形状特性について—	○宇田津徹朗、石川隆二
	P003	海辺の暮らし：後期旧石器時代前半期の人類—資源環境系	○上峯篤史、村井咲月、吉田真優
	P004	ストロンチウム同位体比からみた中世キルギスにおける家畜の産地と移動	○植月学、新井才二、金井拓人、矢野萌生、町田嗣樹、アイーダ・アブディカノヴァ、クバトベック・タバルディエフ、バキット・アマンバエヴァ、山内和也
材質・技法	P005	植物混和土器をめぐって	○西田泰民、阿部昭典、宇田津徹朗、水ノ江和同、鳥越俊行、宮田将寛
	P006	縄文時代の縄の素材植物種を同定するためのリファレンス構築—現生縄織維30標本のファイトリスの形態比較—	○伊藤美香、國井秀紀、小林和貴、佐々木由香
	P007	東京湾東岸部における赤色顔料の利用—縄文時代前期後半の遺跡を中心として—	○畑山智史、河野摩耶、高橋和也、飯塚義之、南武志
	P008	青森県川原平（1）遺跡出土藍胎漆器のX線CTによる構造解析	○片岡太郎、米田リサ、鹿納晴尚
	P009	土器成形技術のX線CT分析：西日本縄文・弥生時代移行期前後の土器を対象として	○三阪一徳、小林啓、米元史織、米山玲緒、田尻義了
	P010	加熱により濃色化した琥珀の分子構造について	○植田直見、渡邊緩子
	P011	鉛バリウムガラスの再検討	○比佐陽一郎、小林啓
	P012	細線文漆器に用いられる赤色顔料の調査	○比佐陽一郎、岡部裕俊
	P013	中国湖北省房県における「車馬行図」墓磚の材質・焼成工程・彩色	○朱独伊、谷口陽子、黒澤正紀
	P014	モンゴル17世紀サリダグ寺院出土遺物の彩色材料に関する調査①—黄色に用いられた砂金について—	○柳成煜、成瀬正和、サンピルドンドブ・チョルン、メンドバザル・オユントルガ、今津節生
	P015	陶磁器製作に使われる糊の効果—焼成雰囲気と顔料の成分変化との関係—	○樋口智寛、新免歳靖、水本和美
	P016	中国青銅器・銭貨鑄型の調査—泉屋博物館・和泉市久保惣記念美術館所蔵資料を対象として—	○丹羽崇史、村田泰輔
	P017	船原古墳出土銅鈴の構造技法解析	○加藤和歳、小林啓、甲斐孝司、岩橋由季、西幸子
	P018	鉄釘に残る木材痕跡を用いた木棺構造の想定復元	○小林啓
	P019	群馬県藤岡市伝神流中学校校庭古墳（戸塚古墳群）出土古墳時代の銀象嵌円頭大刀柄頭のX線CTによる観察事例報告	○石原道知、宮田将寛、鳥越俊行、軽部達也、齋藤直樹
	P020	國學院大學博物館所蔵陶棺の彩色顔料の材料研究	○奥山誠義、絹島歩、河崎衣美、深澤太郎
	P021	常陸の内海周辺における後期・終末期古墳出土ガラス小玉の蛍光X線分析	○鎌田涼、谷口陽子
	P022	平安京左京八条四坊一町跡における非鉄金属生産に関する科学調査	○沓名貴彦、山本雅和
	P023	観無量寿経の材料分析—平安時代末頃における真鍮の利用—	○降幡順子、上杉智英
	P024	ウズベキスタン共和国カフィル・カラ遺跡・クルドル・テバ遺跡から出土した金属製品の蛍光X線分析	○末森薫、寺村裕史、村上智見、伊藤幸司、成瀬正和、バグマトフ・アリシエル、ベルディムロドフ・アムリディン、ボゴモロフ・ゲンナディー、サンディボエフ・アリシエル、宇野隆夫、押鐘浩之
	P025	川原寺裏山遺跡出土の塑像・方形三尊磚仏の彩色および材料の研究	○濱村美緒、金原正明、大山明彦、西光慎治
	P026	木屑の形態分類と部位名称に関する予察	○浦蓉子、小原俊行

発表分野	番号	発表題目	発表者
材質・技法	P027	無機物を主体とする保存修復材料による壁画の補強技法に係る研究	○前川佳文、モニカ・マルテッリ・カスタルデイ、ガイド・ボッティチェッリ、ステファニア・フランチェスキーニ
	P028	天理図書館所蔵『南蛮屏風』の光学調査および蛍光X線分析による右隻の色料分析	○青木智史
	P029	金沢市立玉川図書館所蔵『二之御丸御殿御造管内装等覚及び見本・絵形』第二冊に添付された唐紙などの現物見本に用いられた材料の分析調査	○寺島海、紀芝蓮、梶青華、滝川重徳、犬塚将英
	P030	可搬型蛍光X線分析装置による格天井板絵の色材調査の試み	○魚島純一
	P031	平城宮・京跡から出土した曲物底板にみられる刻線痕跡と製作技術	○前田仁暉、浦蓉子
	P032	国宝「初音の調度」のうち櫛箱、小角赤手箱、手箱（胡蝶蒔絵）の木地構造および制作技法のX線CT調査	○渡辺祐基、川畑憲子、板谷寿美、吉川美穂、田中麻美、木川りか
	P033	日本二十六聖人記念館所蔵「日傘」の材質・構造調査と製作地の推定	○大西智洋、後藤里架、渡辺祐基、和泉田絢子、志賀智史、デ・ルカ・レンゾ、宮田和夫
	P034	正倉院に伝わるガラス製魚形の科学的調査	○鶴真美、山片唯華子
	P035	琉球国大里城の雲版（徳島浄智寺）の科学調査	○鳥越俊行、三本周作、三田覚之、伊藤旭人、加藤沙弥、崎原恭子
	P036	韓国高敞文殊寺木造地藏菩薩坐像と十王像の科学的分析	○李義天、康民持、金洙喆
産地	P037	北方系細石刃石器群の石材消費戦略：岐阜県高山市池ノ原遺跡採集資料の分析	村井咲月、○上峯篤史
	P038	新潟県における遠隔地産黒曜石製石器の再検討	○青木要祐、佐々木繁喜
	P039	ポータブル蛍光X線分析装置を用いた判別図法による黒曜石産地推定	○竹原弘展
	P040	帯磁率と比重を用いたサスカイトの非破壊産地推定法	○朝井琢也
	P041	下呂石の多様性と記載岩石学的検討	○安江太良、高木康裕、上峯篤史
	P042	火炎土器の胎土分析	○三浦麻衣子、菅頭明日香、千葉毅、芳賀文絵、長澤展生、佐藤信之、山岸洋一、小河原孝彦、鹿取渉、貞包健良、阿部泰之、水沢教子、佐藤雅一、建石徹
	P043	東京大学医学部附属病院入院棟A地点から出土した色絵磁器色絵具の原料産地推定	○三浦麻衣子、新免歳靖、水本和美、堀内秀樹、二宮修治
	P044	窯跡出土須恵器の携帯型EDXRF非破壊分析による須恵器の胎土分析	○金原正明、泉武、白石耕治、千葉太郎、青木智史、金原裕美子
	P045	唐古・鍵遺跡および布留遺跡出土の土師器における携帯型EDXRF非破壊分析による胎土分析	○金原正明、藤田三郎、金原裕美子、西村奏
	P046	胎土分析からみた東大寺指図堂出土奈良三彩の特徴	○小倉頌子、奥山誠義、大西貴夫
	P047	奈良・京都における土器遺物の非破壊による胎土分析	○金原裕美子、金原正明、桐井理揮
	P048	中性子放射化分析による幕末の京都土佐藩邸出土刻印瓦の胎土分析	○富井眞、高宮幸一、伊藤淳史、木立雅朗、千葉豊、吉井秀夫
	P049	鉄製遺物の産地推定における錆の影響：蛍光X線分析の場合	○市川慎太郎、佐藤かのん、栗崎敏
	P050	ブハラオアシス出土のガラス製遺物のSr同位体比分析(2) —パイケンドおよびブハラ遺跡出土品を対象に—	○田村朋美、新免歳靖、遠藤綾乃、細川貴子、竹田多麻子、二宮修治、Rocco Rante
	P051	大和郡山市より発見された観音像産地推定のための放射光CTとXRD測定	○上相英之、仲野純章、岩波智代子、松浦哲郎、上相真之
探査	P052	地中レーダ探査を用いた古代城柵・雄勝城に関する調査・研究	○高瀬尚人、竹内幸輝、高橋学
	P053	AUVを用いた葛籠尾崎湖底遺跡探査の概要	○矢野健一、熊谷道夫、西田祐也、杉松治美、井上昇悟、宮川亮、小田崎壺成
	P054	地球温暖化による劇的環境変動に適した石造文化遺産の調査・保存法の総合的研究(3) —竹田城花屋敷曲輪での表面波探査—	土井一生、○塚本敏夫、坂本俊、田邊征夫、三村衛、朽津信明、金田明大、大川拓也

発表分野	番号	発表題目	発表者
年代測定	P055	後期旧石器時代初頭に位置づけられる考古遺跡堆積物のルミネッセンス年代測定	○下岡順直、国武貞克、伊藤茉由子
	P056	福島県桜川遺跡出土の縄文時代前期土器付着炭化物の放射性炭素年代測定	○野村萌々花、工藤雄一郎、門叶冬樹
	P057	北海道美幌町元町2遺跡における年代測定と集落形成	○守屋豊人、八重柏誠
	P058	弥生期の日本産樹木の単年輪 ¹⁴ C測定	○坂本稔、箱崎真隆、光谷拓実、中塚武、尾崎大真
	P059	酸素同位体比年輪年代法標準年輪曲線の新構築と今後の展望	○箱崎真隆、佐野雅規、木村勝彦、中塚武
	P060	久保田城三の丸洪江屋敷跡出土木材の年輪年代学的調査	○大山幹成、工藤佳世、沈昱東、宇田川浩一
	P061	マイクロフォーカスX線CT撮像に基づく木造伝親鸞聖人坐像頭部の年輪年代学的検討	○鈴木伸哉、大山幹成、星野安治、鈴木篤、長佐古真也
	P062	商用輸入された南米アレルセ材の年輪年代測定	○佐野雅規、上奈穂美、坂本稔、箱崎真隆
	P063	古民家調査における考古学・自然科学分析の役割—国立市旧本田家住宅を対象とした検討—	○清水香、黒沼保子、パレオ・ラボAMS年代測定グループ
文化財科学 一般	P064	横浜市称名寺貝塚及び元町貝塚出土の糞石研究	○白石哲也、西田泰民、浪形早季子、福井淳一、三谷智広、宮田佳樹
	P065	X線CTを応用した形状偏差解析の有効性	○大江克己、竹内隼人、八幡巴絵
	P066	山梨県北杜市諏訪原遺跡のシソ属混入土器とエゴマの発芽実験	○西本志保子、金子悠人、奈良部大樹、佐々木由香、小林謙一
	P067	画像生成AI (VAE) による縄文土器研究の可能性	○千葉豊、高野紗奈江、杉山淳司
	P068	縄文時代後期前葉十腰内I式期の食性分析—五戸町小渡遺跡を中心に—	○國木田大、阿部昭典、中村耕作、村本恵一郎、米田穰
	P069	北海道十勝川下流域における土器調理	○村本周三、福井淳一、宮内信雄、小澤仁嗣、堀内晶子、國木田大、宮田佳樹
	P070	残存有機物分析による石製製粉具の使用法復元の可能性 (1) — 2023-24年実施のブラインドテスト—	石田温美、○宮内信雄、堀内晶子、小澤仁嗣、宮田佳樹
	P071	土器残存脂質分析による海藻利用の評価	○小澤仁嗣、宮内信雄、堀内晶子、岩崎郁実、上條信彦、宮田佳樹
	P072	遠賀川系土器にみられる黒色化に関する検討：残存脂質分析からのアプローチ	○堀内晶子、宮内信雄、小澤仁嗣、岡安雅彦、宮田佳樹
	P073	弥生時代磨製石器の石材に対する材料工学的検討	○森貴教、月山陽介、柚原雅樹、川野良信
	P074	3Dモデル化による砥石の基礎的研究	○水野敏典
	P075	百舌鳥城ノ山古墳出土ガラス製品の化学組成分析	○村串まどか、久永雅宏、橘泉、肥田翔子
	P076	三次元形状計測を用いた上塩冶築山古墳出土銅鈴の研究	○中尾真梨子、奥山誠義、北井利幸、水野敏典、坂本豊治
	P077	3D写真計測を活用した骨角器・動物遺存体の実測について	○風間智裕、畑山智史、福井淳一、宮田佳樹
	P078	カラフトブタ飼養の消長と飼養実態に関する調査：計画の概要	○上奈穂美
	P079	歯エナメル質断片のプロテオーム分析による甕棺被葬者の性別判定	○久保鮎子、鈴木敏彦、柳澤和明、小野章太郎、蔦谷匠
	P080	近世の埋葬人骨に付着した植物片のDNA分析	○水野文月、舟橋京子、米元史織、瀬口典子、山田孝、林美千子、熊谷真彦、田中真生、黒崎久仁彦、植田信太郎
	P081	X線CTによる樹種同定にむけた木材画像データベースの構築	○河村友佳子、日高真吾、橋本沙知、和高智美、杉山淳司
P082	石清水八幡宮摂社狩尾社本殿の年輪年代学的検討	○星野安治、大山幹成、米延仁志、鈴木伸哉	
P083	華嚴宗新薬師寺に所在する実忠和尚御歯塔の造立年代について	○荒木徳人	
P084	彩色木彫の保存と活用に関する研究	○北野信彦、森岡志保、加茂竜一、中山香一郎、嶋光太郎	
P085	近世社寺建造物の銅葺瓦の塗装に関する基礎的研究	○本多貴之、正田勇人、倉島玲央、大西功紗、前川実穂、北野信彦	
P086	浮世絵に用いられた赤色系染料の科学分析	○藤原学、門田楓夏	

発表分野	番号	発表題目	発表者
文化財科学 一般	P087	青色顔料の判別における赤外線顕微鏡による表面観察の有効性についての研究	○中田愛乃、田村朋美
	P088	赤外線撮影による総持寺雲龍図杉戸絵の調査	○山埜井裕香、篠原志織、清水梨代、杉山智昭
	P089	北海道に伝世する漆器の科学分析	○正田勇人、李芸元、本多貴之
	P090	江戸時代後期の雑道具に対する科学分析	○越智悠太、本多貴之
	P091	仙台藩三代藩主 伊達綱宗公の着衣と墓室内副葬品の重金属分析	久保田領志、伊達泰宗、渡部治子、兼清礼、○中田晴彦
	P092	数値制御工作機械を用いた彫金文様の再現 — 曲面上の毛彫りにおける工作機械運動軸挙動が再現性に及ぼす影響 —	○小川圭二、矢羽田聡志、本田尚義、河嶋壽一
	P093	UAV-LiDAR測量に基づく岡山市造山古墳東丘陵の遺跡分布調査	○光本順、ライアン・ジョセフ、山口雄治、清家章
	P094	UAVと地上レーザ計測を併用した近代建造物の記録 — 津守下水処理場ポンプ室を例にして —	○岡本篤志、貝柄徹、二階堂達郎
	P095	木幡山伏見城周辺地域の変動地形条件と人間活動履歴	○中塚良、大西晃靖、辻本裕也
	P096	近現代考古学と登り窯の三次元計測 — 鞆の浦・鞆皿山窯跡の事例 —	鈴木重治、岡本純夫、○ナワビ矢麻、木立雅朗、余語琢磨、田畑幸嗣
	P097	断片化したエジプト古代壁画の復元支援における3次元データの活用	○中内海輝、吹田真理子、吹田浩、鶴田浩章、肥後時尚、末森薫、安室喜弘
	P098	1970年代の東京教育大学（現・筑波大学）イラン遺跡調査団により蒐集されたガラス資料（小田幸子コレクション）に関する基礎研究	○阿部善也、村串まどか、四角隆二、鎌田涼、谷口陽子
	P099	ウズベキスタン共和国クルドル・テパ遺跡から出土した四葉座内行花文鏡の調査	○村上智見、末森薫、伊藤幸司、成瀬正和、ベグマトフ・アリシエル、サンディボエフ・アリシエル、ベルディムロドフ・アムリディン、寺村裕史、宇野隆夫、押鐘浩之
	P100	分光計測に基づいたテクスチャ生成による莫高窟の礼拝空間再現	○藤原智晴、川口拓哉、末森薫、安室喜弘
	P101	フィリピンで発掘された日本産陶磁器のイメージング分光分析	○陸郭人傑、高田嘉宏、猿倉信彦、筑本知子、宮原暁、清水俊彦、J. E. R. Bersales
	P102	漆塗膜保護に用いられる合成樹脂の乾湿サイクルによる状態変化の調査	○望月香里、本多貴之
	P103	経年による木材の親水性・疎水性および表面濡れ性の変化 — 国立歴史民俗博物館所蔵・法隆寺古材を用いた検討	○横山操、坂本稔、金森主祥、小椋大輔、河本晴雄
	P104	海水損した皮革文化財の抗菌処置に関する検討	○田口智子
P105	舞鶴引揚記念館所蔵「白樺日誌」の保存処理に向けた基礎的研究	○若杉勇輝、植田直見、萩田小百合	
P106	脆弱文化財の新しい保管・輸送・展示用パッキング法としてのハイミランの試用	○塚本敏夫、雨森久晃	
P107	「東アジア文化遺産保存学会」の歩みと成果、今後に向けて	○西浦忠輝、今津節生、高妻洋成	
P108	ソウル（往十里）から出土した木棺の科学的分析	○吳定恩、朴昶炫、朴廷慧、金洙喆	
文化財防災	P109	スクウェルチ・ドライイング法による水損した紙資料の救済法	○李素妍
保存科学	P110	劣化した漆塗膜層および下地層の強度評価	○倉島玲央
	P111	大阪大学総合学術博物館所蔵の日本画作品に使用された染料・顔料のイメージング分光分析	○榎本虎太郎、筑本和子、猿倉信彦、清水俊彦、高田嘉宏
	P112	海中出土木材に対するキレート剤の脱鉄効果に関する基礎的研究 — 濃度による効果の検証 —	○張亜莉、比佐陽一郎、今津節生
	P113	国指定史跡荒神谷遺跡及び国宝鳥根県荒神谷遺跡出土品の長期維持管理に関する事例報告	○杉崎佐保恵
	P114	奈良県藤ノ木古墳出土品の再修理3年次の取り組み — 馬具類の再修理と脱塩処理	○河崎衣美、小倉頌子、奥山誠義、中尾真梨子、水野敏典、平井沈史、鈴木朋美、伊東菜々子、吉村和昭、青柳泰介、木村理恵、北井利幸、横須賀倫達
	P115	原状復帰を想定した粘土層の剥ぎ取り — 奈良市富雄丸山古墳を例として —	○小倉頌子、奥山誠義、河崎衣美、中尾真梨子、中島和彦、鐘方正樹、柴原聡一郎、山口等悟

発表分野	番号	発表題目	発表者
保存科学	P116	埋蔵時の鉄製遺物の腐食に及ぼすさび層の影響 —古墳出土鉄製遺物のさび層の組成と構造	○柳田明進、脇谷草一郎、和田一之輔
	P117	出土銅製品に施された塗膜の剥離メカニズムの検討(その3) —埋蔵環境が塗膜の変質に及ぼす影響—	○楊曼寧、本多貴之、柳田明進、奥山誠義、脇谷草一郎
	P118	トレハロースによる大型鉄製遺物の保存処理 —順動丸鉄製シャフト—	○伊藤幸司、加藤由美子
	P119	千代ヶ崎砲台跡煉瓦壁におけるシリケート系強化剤処理部の塩類集中析出に関する検討	○森彬、長谷川稔、深見利佐子、川本真由美、松井敏也
	P120	溶剤存在下における含浸樹脂の熱安定性について	○植田直見、川本耕三、山口繁生、渡辺智恵美、山田卓司
	P121	法隆寺金堂収蔵庫における壁画の保存・公開に関する研究 —収蔵庫中央室高湿部位の発生メカニズムの検討—	○近藤花野美、小椋大輔、伊庭千恵美、高取伸光、石川和輝
	P122	ビマ寺院の三次元計測と近接観察による劣化状況の調査	○Dyah Ayu Pangestuti、松田泰典、松井敏也
	P123	古墳石槨の発掘調査時における遺物・遺構の保存のための覆屋の環境調整に関する研究(その2) 覆屋の断熱性・換気量および掘削面の防湿による結露量の抑制	○森田健斗、小椋大輔、高取伸光
	P124	鶴殿石仏群に構築された仮設覆屋の保護効果に関する評価	○朽津信明、白石明香
	P125	岩窟仏堂における環境モニタリングによる高湿化要因の検討	○水谷悦子、小椋大輔
	P126	旧古河庭園洋館の外壁石材における変色の原因に関する調査	○深見利佐子、竹本喜昭、小島静
	P127	史跡名勝瑞泉寺庭園における庭石の風化状況に関する調査(II)	○莊旺璋、中川郷子、吉村龍二、脇谷草一郎、高妻洋成
	P128	数値解析による屋外文化財の塩類風化予測に関する研究 —塩の析出状態予測における材料内初期塩濃度の影響—	○磯村隆正、高取伸光、小椋大輔、酒井紘太郎、脇谷草一郎
	P129	カラコルム・ハイウェイ(ギルギット・バルティスタン)沿いに遺存するペトログリフの現状調査	○杉山智昭
	P130	南山大学人類学博物館の展示収蔵環境(温湿度)	○高橋佳子